情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦　2025 年7月4日　第5版

研究課題名	ヒト精巣組織を用いた体外精子形成の研究
研究の対象	性同一性障害の当事者で、札幌医科大学において性別適合手術（除精巣術）を受ける方の中で、研究の趣旨に同意して摘出精巣組織を提供してくださる方
研究目的・方法	体外でヒト精子形成を誘導する培養法を開発し、ヒト精子形成のメカニズムの解明と男性不妊症の診断法・治療法の開発に貢献します。ヒト精巣組織を用いて様々な培養条件を検討します。
研究期間	西暦　2018 年　6 月　25 日（承認日）　～　西暦　2030 年　6月　30 日
研究に用いる試料・情報の種類	札幌医科大学附属病院において性別適合手術を受ける際に摘出される精巣を本研究に用います。精巣組織提供者の個人情報としては、年齢、ホルモン療法の内容と期間、感染症の有無、のみを研究データとして用います。
外部への試料・情報の提供	共同研究機関である理化学研究所と筑波大学に検体の一部と検体情報を提供し、実験を行います。個人を特定できない状態で提供しますので、個人情報は保護されます。また、検体や情報については、実験終了後破棄されるため、当該機関で保管されることはありません。
外部からの試料・情報の取得と保管	札幌医科大学から精巣組織の提供を受けます。提供される情報は、提供者の年齢とホルモン治療の内容と期間、感染症の有無、です。提供者のそれら以外の個人情報と精巣組織の ID は連結しません。精巣組織は通し番号を付し、研究用の ID とし、研究室のノートに記載し、鍵のかかる机に保存・管理します。精巣組織は液体窒素内で 5 年間保存し、5 年後に破棄します。
研究組織	研究代表者：横浜市立大学・医学部・泌尿器科　教授　槙山和秀 共同研究者：札幌医科大学医学部 泌尿器科学講座　教授　舛森直哉 共同研究者：国立研究開発法人理化学研究所・生命医科学研究センター・細胞機能変換技術研究チーム　チームリーダー・鈴木治和 共同研究者：筑波大学生命環境系・微生物サステナビリティ研究センター　助教・八幡　穣

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、受診された札幌医科大学までお申出ください（本学では個人を特定することができません）。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先：

〒236-0004　横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学　医学部　泌尿器科（研究責任者）槙山　和秀

電話番号：045－787－2800（代表）